

## 第6回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

連携・協働アクションプランの具体的取組について

令和 5年 7月 26日

# (1)はじめに

- 連携・協働アクションプランは、生態系ネットワーク形成の目標、進め方を踏まえた上で取り組んでいく。

## ■生態系ネットワーク形成の目標

- 石炭産業が盛んになる明治期以前の自然環境に近づける。
- 実現した自然環境と歴史・文化的資源を有機的につなげ、地域や住民の豊かな生活を実現する。

外来生物対策WG  
(在来種保全・再生)

自然環境WG  
社会環境WG

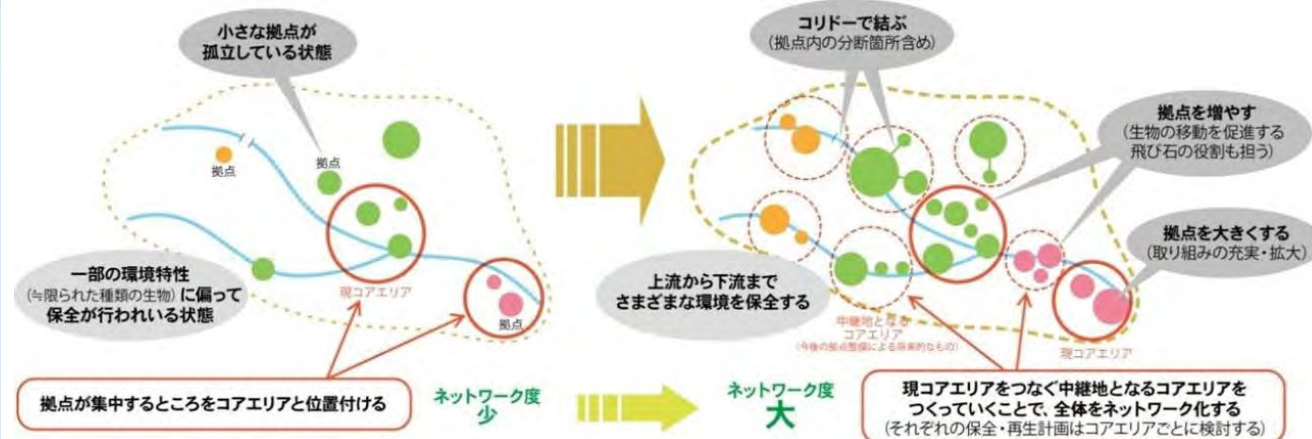
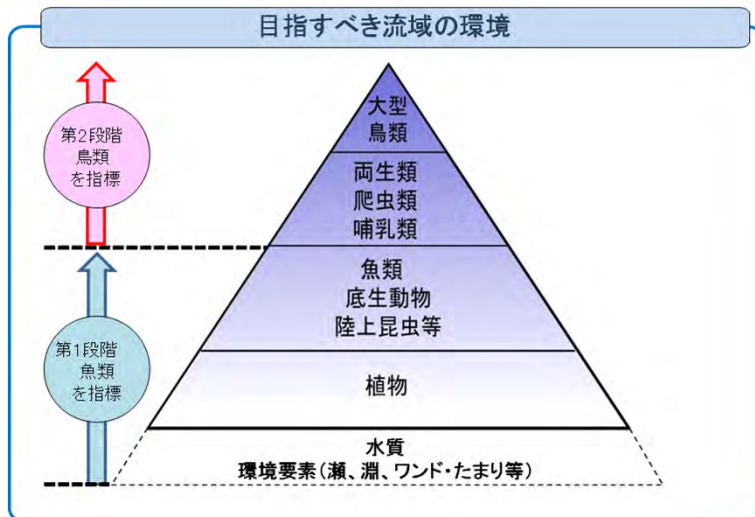
## ■生態系ネットワーク形成の進め方

- 生態系ピラミッドの下位の生物から整えていく「ボトムアップ方式」により展開を図る
- ポテンシャルの高いホットスポット等の拠点を回廊でつなぎ、点から線、線から面への展開を図る
- 得られた豊かな自然を、歴史・文化的資源と有機的につなげて地域づくりへの展開を図る

植物→底生・魚類→哺乳類→鳥類

ホットスポットを増やすことで  
点→線→面のネットワークを形成

自然環境×社会環境の相乗効果  
で地域活性化へ



生態系ネットワーク展開イメージ図(点→線→面)

ボトムアップ方式による生態系ネットワーク形成の概念図

# (2) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (外来生物対策)

第5回協議会資料に加筆

## ■ 外来生物対策WGのテーマと取組の関係

【テーマ】 外来生物の駆除、外来生物取り扱いルール等による  
生物多様性の保全と新たな観光産業の創出

➤ 外来生物に関する学びと問題意識の啓発

- ・外来生物に関する勉強会による知識向上
- ・外来生物についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での住民への周知による問題意識の啓発

○勉強会  
・オオキンケイギク  
・ブラックバス、ブルーギル  
・遠賀川水系の外来生物

➤ 外来生物の駆除

- ・外来生物(オオキンケイギク:開花期5月~6月)の駆除  
(例:春の遠賀川一斉清掃と併せた駆除、点検・巡回時の駆除、通報を受けての駆除、企業等との連携による駆除)
- ・オオキンケイギク生育分布の経年変化の把握  
(例:通報・巡回等による確認箇所や駆除実施箇所のマップ作成)
- ・ルールに沿った外来生物の駆除

・オオキンケイギク駆除  
・オオキンケイギクマップ

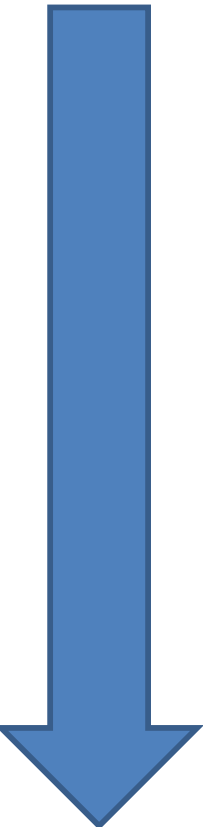
➤ 外来生物取り扱いルール

- ・駆除対象外来生物のニーズ把握と選定  
(例:オオクチバス、アライグマ、スクミリンゴガイ等)
- ・外来生物対策検討会(仮称)の立ち上げ、関係者間調整、取り扱いルール作成・周知

生物多様性の保全

➤ 新たな観光産業の創出

- ・外来生物の活用事例の収集・活用検討(例:釣り、食事、エコツアー等)



実施済みの取組



今後の取組

## (2) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (外来生物対策)

※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直します

第5回協議会資料に加筆

【テーマ】 外来生物の駆除、外来生物取り扱いルール等による生物多様性の保全と新たな観光産業の創出

取組み内容	場所	役割分担		スケジュール	
		中心	協力	R4～R8(短期)	R9～(長期)
<p>➤ 外来生物に関する学びと問題意識の啓発</p>					
●外来生物に関する勉強会による知識向上	流域全体	国、県、市町村	住民等	外来生物勉強会	
●外来生物についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での住民への周知による問題意識の啓発	流域全体	市町村	国、県、住民等	HP・チラシ等による周知	
<p>➤ 外来生物の駆除</p>					
●外来生物(オオキンケイギク:開花期5月～6月)の駆除(例:春の遠賀川一斉清掃と併せた駆除、点検・巡回時の駆除、通報受けての駆除、企業等との連携による駆除)	流域全体	住民等	国、県、市町村	オオキンケイギク駆除	
●オオキンケイギク生育分布の経年変化の把握(例:通報・巡回等による確認箇所や駆除実施箇所のマップ作成)	流域全体	国、県、市町村	住民等	オオキンケイギクマップ	
●ルールに沿った外来生物の駆除	該当市町村	住民等	国、県、市町村		
<p>➤ 外来生物取り扱いルール</p>					
●駆除対象外来生物のニーズ把握・選定(例:オオクチバス、アライグマ、スクミリンゴガイ等)	該当市町村	市町村	国、県	ニーズ把握・選定	
●外来生物対策検討会(仮称)の立ち上げ、関係者間調整、取り扱いルール作成・周知	該当市町村	市町村	国、県	立ち上げ調整 ルール作成 周知	
<p>➤ 新たな観光産業の創出</p>					
●外来生物の活用事例の収集・活用検討(例:釣り、食事、エコツアー等)	該当市町村	国、県、市町村	住民等	活用事例収集 活用検討	

     実施済みの取組
      今後の取組



# (2) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (外来生物対策)

## ■外来生物の駆除

### ○遠賀川一斉清掃と併せたオオキンケイギク駆除

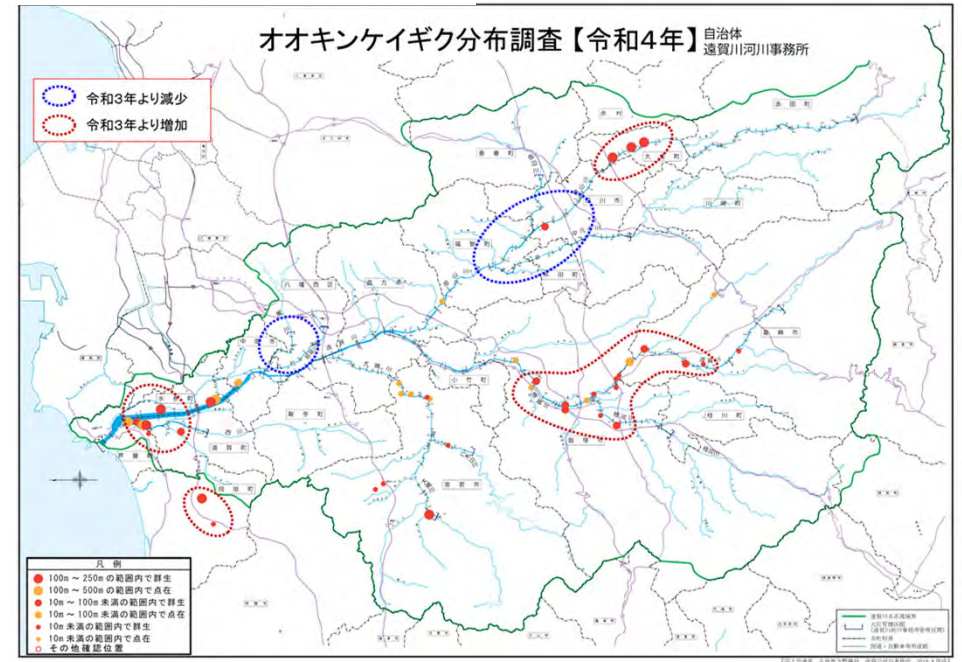


## ■普及啓発

### ○Youtubeアーカイブ



## ○オオキンケイギクマップ



## ○オオキンケイギク駆除リーフレット

# (2) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (自然環境)

## ■ 自然環境WGのテーマと取組の関係

第5回協議会資料に加筆

### 【テーマ】 環境にやさしい農作物の生産等の支援とブランド化の支援

#### ➤ 環境にやさしい農作物の生産等の支援

##### 環境にやさしい農作物の例

- ・減農薬・無農薬農法による河川水質への負荷低減
- ・耕作放棄地の利活用による湿地環境創出と田んぼダム等流域治水への貢献
- ・荒廃した森林の適切な維持管理(植林、間伐)を通じた水源涵養による雨水流出抑制、間伐材の利活用

- ・環境にやさしい農作物の生産活動に関する事例収集と支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))
- ・環境にやさしい農作物の生産活動についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での情報発信、共有

- ・生物が河川と水田を行き来することのできる農地環境創出に向けた関係機関調整(例:エコロジカルネットワーク再生事業等)

・エコネット住民WG  
・エコネット検討会

#### ➤ 環境にやさしい農作物ブランド化の支援

- ・環境にやさしい農作物のブランド化に関する勉強会
  - ・栃木県小山市の事例
- ・ブランド化支援対象の抽出(例:れんげ米、源流米)
- ・環境にやさしいブランド農作物の生産活動支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))
- ・エコツーリズム、食事など観光産業への展開(例:遠賀川流域散策マップの作成、農業体験(Do you 農)、食品開発(学校との協働)等)

### 経済効果

### 生物多様性、生態系の保全

### 定住人口増加

実施済みの取組

今後の取組

# (2) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (自然環境)

※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直します

第5回協議会資料に加筆

【テーマ】 環境にやさしい農作物の生産等の支援とブランド化の支援

取り組み内容	場所	役割分担		スケジュール	
		中心	協力	R4～R8(短期)	R9～(長期)
<b>➤ 環境にやさしい農作物の生産等の支援</b>					
●環境にやさしい農作物の生産活動に関する事例収集と支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))	流域全体	市町村	国、県、住民等	環境にやさしい農作物事例収集	
●環境にやさしい農作物の生産活動についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での情報発信、共有	流域全体	市町村	国、県、住民等		
●生物が河川と水田を行き来することのできる農地環境創出に向けた関係機関調整(例:エコロジカルネットワーク再生事業等)	流域全体	国、市町村	住民等	エコロジカルネットワーク再生事業	
<b>➤ 環境にやさしい農作物のブランド化の支援</b>					
●環境にやさしい農作物のブランド化に関する勉強会	該当市町村	住民等、市町村	国、県	勉強会 栃木県小山市の事例	
●ブランド化支援対象の抽出(例:れんげ米、源流米)	該当市町村	住民等、市町村	国、県		
●環境にやさしいブランド農作物の生産活動支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))	該当市町村	住民等、市町村	国、県		
●エコツーリズム、食事など観光産業への展開(例:遠賀川流域散策マップの作成、農業体験(Do you 農)、食品開発(学校との協働)等)	該当市町村	住民等、市町村	国、県	遠賀川流域散策マップ等の情報収集、散策ルートの設定	

     実施済みの取組    
      今後の取組



## (2) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (自然環境)

### ■環境にやさしい農作物、ブランド農作物

○夢れんげ(遠賀町): 減農薬・減化学肥料栽培



出典: 遠賀町HP

○香春れんげ米(香春町): 減農薬・減化学肥料栽培



出典: 香春町HP

○源流米(嘉麻市)販売状況



出典: EAT-Plus HP

○伐採した竹の活用(メンマ作成)



出典: NPO法人遠賀川流域住民の会HP



# (2) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (社会環境)

第5回協議会資料に加筆

## 【テーマ】 生態系に関する多様な主体の連携

### ➤ 多様な主体の連携のための基本ツールの作成と活用

・遠賀川流域生態系ネットワークのロゴマーク作成 (コンセプトの検討、公募、決定)とその活用

・流域内の生態系保全に資する情報のアーカイブ化とその活用

○Youtubeにて公開  
・外来生物勉強会

・持続可能な情報発信ツールの採用検討とその活用(例:生態系情報図の活用、メーリングリスト、SNS等)

### ➤ 多様な主体が活動しやすい仕組みづくり

・生態系保全に関する人材、資材の調整・融通  
(人材の例:外来生物やブランド化の勉強会に関する講師、環境にやさしい農作物を使った食品開発のできる学生等)  
(資材の例:外来生物駆除に必要な罠、環境学習で使用する調査機材等)

・関係機関の既存イベントを通じた取組の普及  
(例:ふくおか水もり自慢!、エコスタいいづか等における発表等)

○展示・発表  
・ふくおか水もり自慢!  
・エコスタいいづか

流域住民の生物多様性保全  
に関する意識醸成

環境教育、環境保全活動の効率化、  
ノウハウの蓄積

生物多様性の保全

人・物のネットワーク形成

実施済みの取組

今後の取組

## (2) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (社会環境)

※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直します

第5回協議会資料に加筆

### 【テーマ】生態系に関する多様な主体の連携

取組み内容	場所	役割分担		スケジュール	
		中心	協力	R4～R8(短期)	R9～(長期)
<p>➤ 多様な主体の連携のための基本ツールの作成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 遠賀川流域生態系ネットワークのロゴマーク作成 (コンセプトの検討、公募、決定)とその活用</li> </ul>	流域全体	国、県、市町村		コンセプトの検討 ロゴマーク作成	ロゴマーク活用
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 流域内の生態系保全に資する情報のアーカイブ化とその活用</li> </ul>	流域全体	国、県、市町村		アーカイブ化、活用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な情報発信ツールの採用検討とその活用 (例: 生態系情報図の活用、メーリングリスト、SNS等)</li> </ul>	流域全体	国、県、市町村		生態系情報図 ツール検討、活用	
<p>➤ 多様な主体が活動しやすい仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生態系保全に関する人材、資材の調整・融通 (人材の例: 外来生物やブランド化の勉強会に関する講師、環境にやさしい農作物を使った食品開発のできる学生等) (資材の例: 外来生物駆除に必要な罠、環境学習で使用する調査機材等)</li> </ul>	流域全体	国、県、市町村	住民等	講師の派遣 人材、資材の整理、	資材の調整・融通
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係機関の既存イベントを通じた取組の普及 (例: ふくおか水もり自慢!、エコスタいいづか等における発表等)</li> </ul>	流域全体	国、県、市町村 住民等		イベント展示・発表	

実施済みの取組     今後の取組

## (2) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (社会環境)

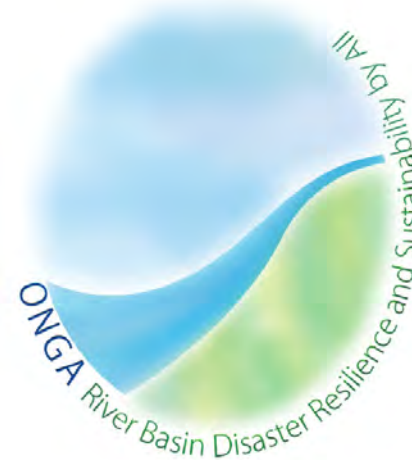
### ■ SNSによる情報発信

- ・遠賀川流域住民の会facebookによる中島自然観察会について情報発信されている
- ・福岡県環境部の公式ツイッターにより環境情報が発信されている



### ■ ロゴマーク(使われ方の例)

- ・遠賀川河川事務所では、流域治水の普及啓発を図っている。また、流域関係機関の取組にも使用できるよう検討している。
- ・「魚のゆりかご水田協議会(栗見出在家町)」では、滋賀県から「魚のゆりかご水田米」の認証を受けるなどブランド化を図っている。



○遠賀川流域治水ロゴマーク



○魚のゆりかご水田米ロゴマーク